

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人でできる

Ⅲ. 時間や症状により側管より薬剤を与薬される患者の管理が安全にできる

		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	投与する患者になぜその薬剤が定時薬や臨時薬として投与されるのか述べることができる				95.9	60.3
2	点滴ルートを両手でたどって投与するルートの三方活栓を確認することができる					98.6
3	三方活栓を正しく使って、側管からの与薬用の注射器およびルートを接続できる					97.3
4	側管からいく薬剤の与薬を指示注射ワークシートの指示に従って実施することができる					95.2
5	側管からいく薬剤とメインルートの薬剤の与薬の管理が同時にできる					91.8
6	点滴の接続部がはずれていないか定期的に観察することができる					95.2
7	与薬の終了を確認し、三方活栓を閉じることができる					96.6

Ⅳ. 輸液・シリンジポンプを使った与薬を受ける患者の管理が安全にできる

A. 輸液・シリンジポンプに関する基本的知識がある		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時、誤った注入量の設定が致命的な事故を引き起こすことを知っている					93.2
2	輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時、専用輸液セット・注射器があることを知っている					91.8
3	ライン複数挿入時は投与経路を間違える可能性があることを知っている					95.2
4	指示された薬剤がなぜ輸液・シリンジポンプを使用するのか意味がわかる					88.4
5	輸液・シリンジポンプのアラームの見方と対処方法がわかる					87.1
6	輸液ポンプ・シリンジポンプ使用中無停電コンセントに接続する意味がわかる					93.9
B. 輸液・シリンジポンプの安全な準備と実施ができる						
1	落下の危険がないように輸液及シリンジポンプの固定をおこなうことができる					85.7
2	輸液及シリンジポンプ使用にあたって患者に注意事項を伝えることができる				89.7	72.4
3	輸液ポンプ・シリンジポンプ使用中電源が確保されているか確認している					91.8
4	輸液ポンプ・シリンジポンプが交流電源かバッテリー電源か区別がつく					85.0
5	輸液ポンプ・シリンジポンプのバッテリーの充電の量が確認できる					90.5
6	輸液シリンジポンプを使用するとき点滴ルートや注射器を確実にポンプにセットできる					89.8
7	ポンプからルートや注射器を取り外す時、クレンメや三方活栓が解放されたままだとフリーフローとなり過剰投与の危険があることを知っている					92.5
8	輸液・シリンジポンプの指示通りの正確な点滴速度の設定ができる					93.2
9	シリンジポンプに注射器をセットする時、機械のあそびを取る事ができる					88.4
10	輸液・シリンジポンプのスタートボタンを押し、確実にスタートしたことを確認できる					95.2
C. 輸液・シリンジポンプを使った与薬の安全な観察・管理ができる						
1	輸液・シリンジポンプの薬剤がなくなる前に、次の薬剤を準備できる					87.1
2	薬剤がなくなったら、停止ボタンを押し、三方活栓を閉じて患者に影響を与えないようにできる					85.7
3	薬剤をセットしたらスタートボタンを押し、確実に再スタートしたことを確認し、三方活栓を開放することができる					89.1
4	輸液・シリンジポンプが正常に作動していることと、与薬されているかを指差し					93.2

H19年度1年後に「3」の割合
 (左隣は「3+2」の割合)